



## 2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月11日  
上場取引所 東

上場会社名 千代田インテグレ株式会社  
 コード番号 6915 URL <https://www.chiyoda-i.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 小池 光明  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 経理部長 (氏名) 村田 功 TEL 03-3542-3412  
 四半期報告書提出予定日 2021年11月11日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年12月期第3四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	30,537	13.3	2,143	116.0	2,385	126.9	1,696	611.4
2020年12月期第3四半期	26,945	△6.0	992	△29.7	1,051	△33.0	238	△84.9

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 2,901百万円 (ー%) 2020年12月期第3四半期 △907百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	136.82	ー
2020年12月期第3四半期	19.23	ー

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	46,433	35,242	75.9
2020年12月期	43,937	33,274	75.7

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 35,242百万円 2020年12月期 33,274百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	ー	0.00	ー	70.00	70.00
2021年12月期	ー	0.00	ー		
2021年12月期（予想）				70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	6.5	2,500	38.9	2,700	49.3	1,900	115.4	153.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、 除外 ー社（社名）ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有  
詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期3Q	13,528,929株	2020年12月期	13,528,929株
② 期末自己株式数	2021年12月期3Q	1,158,690株	2020年12月期	1,128,482株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期3Q	12,397,335株	2020年12月期3Q	12,400,449株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では、変異株の流行により新型コロナウイルス感染症が再び急拡大し、個人消費の停滞により景気の回復ペースが鈍化しました。中国では、新型コロナウイルス感染症の再拡大に加え、電力不足の深刻化や不動産市況の悪化などにより、厳しい状況となりました。他のアジア地域では、依然として感染拡大に歯止めがかからず、活動制限の強化により経済活動にも影響を与えました。

また、我が国経済は、一旦は新規感染者数が増加したものの、ワクチン接種の促進等により減少し、社会活動が徐々に持ち直しの動きがみられました。

さらに、世界経済全体として、物流輸送費高騰の影響や、半導体不足等による生産調整が続き、長引く供給制約で先行きが不透明な状況となりました。

このような経営環境の中で、グループ一丸となり感染症拡大防止策を講じながら事業活動を行うとともに、事業領域を広げ、売上を拡大し利益を生む戦略を展開しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は30,537百万円（前年同四半期比13.3%増）、営業利益は2,143百万円（前年同四半期比116.0%増）、経常利益は2,385百万円（前年同四半期比126.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,696百万円（前年同四半期比611.4%増）となりました。

セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

日本は、主要分野を中心に堅調に推移し、売上高は6,722百万円（前年同四半期比9.2%増）、営業損失は161百万円（前年同四半期は495百万円の営業損失）となりました。

東南アジアは、AV機器向けが引き続き好調を維持し、売上高は11,395百万円（前年同四半期比18.2%増）、営業利益は900百万円（前年同四半期比86.9%増）となりました。

中国は、AV機器向けが落ち込んだものの、ゲーム機器・自動車向けが好調であり、売上高は8,981百万円（前年同四半期比13.9%増）、営業利益は862百万円（前年同四半期比92.5%増）となりました。

その他は、米国はAV機器向けが減少したものの、自動車向けが伸長し、売上高は3,438百万円（前年同四半期比5.4%増）、営業利益は94百万円（前年同四半期比122.9%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,496百万円増加し、46,433百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金の増加795百万円、原材料及び貯蔵品の増加593百万円及び建設仮勘定の増加652百万円であります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ527百万円増加し、11,190百万円となりました。その主な要因は、賞与引当金の増加277百万円及びリース債務（固定負債）の増加217百万円であります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,968百万円増加し、35,242百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加828百万円及び為替換算調整勘定の増加1,123百万円であります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当事業年度の連結業績予想につきましては、当社グループを取り巻く経営環境等の推移を見極める必要があります。現時点におきましては、最近の業績動向を踏まえ2021年8月6日に公表いたしましたものに変更ございませんが、必要に応じて速やかに見直しを行い開示いたします。

なお、業績予想の前提となった為替レートにつきましては、1米ドル=105円で算出しております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,894	16,689
受取手形及び売掛金	10,332	9,621
有価証券	51	—
商品及び製品	1,706	2,193
仕掛品	409	538
原材料及び貯蔵品	2,223	2,816
その他	434	620
貸倒引当金	△8	△10
流動資産合計	31,043	32,469
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,745	11,019
減価償却累計額	△7,197	△7,459
建物及び構築物(純額)	3,547	3,559
機械装置及び運搬具	8,497	8,981
減価償却累計額	△5,757	△6,133
機械装置及び運搬具(純額)	2,739	2,848
工具、器具及び備品	2,047	2,188
減価償却累計額	△1,683	△1,829
工具、器具及び備品(純額)	363	358
土地	2,587	2,588
使用権資産	333	662
減価償却累計額	△104	△222
使用権資産(純額)	228	440
建設仮勘定	63	716
有形固定資産合計	9,530	10,511
無形固定資産		
ソフトウェア	182	141
ソフトウェア仮勘定	2	1
その他	0	0
無形固定資産合計	184	142
投資その他の資産		
投資有価証券	2,121	2,237
繰延税金資産	189	211
その他	899	887
貸倒引当金	△32	△27
投資その他の資産合計	3,178	3,309
固定資産合計	12,893	13,963
資産合計	43,937	46,433

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,480	6,241
短期借入金	1,025	1,021
リース債務	48	152
未払法人税等	113	313
賞与引当金	350	627
その他	1,277	1,134
流動負債合計	9,295	9,492
固定負債		
長期借入金	100	100
リース債務	198	416
繰延税金負債	540	638
退職給付に係る負債	461	476
その他	66	66
固定負債合計	1,367	1,698
負債合計	10,662	11,190
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,331	2,331
資本剰余金	2,450	2,450
利益剰余金	30,709	31,537
自己株式	△2,236	△2,301
株主資本合計	33,254	34,018
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	500	578
為替換算調整勘定	△517	605
退職給付に係る調整累計額	37	40
その他の包括利益累計額合計	19	1,224
純資産合計	33,274	35,242
負債純資産合計	43,937	46,433

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
売上高	26,945	30,537
売上原価	21,769	23,925
売上総利益	5,176	6,611
販売費及び一般管理費	4,184	4,468
営業利益	992	2,143
営業外収益		
受取利息	74	22
受取配当金	51	48
為替差益	—	121
その他	86	104
営業外収益合計	211	296
営業外費用		
支払利息	12	18
為替差損	108	—
製品保証費用	—	11
その他	31	23
営業外費用合計	151	54
経常利益	1,051	2,385
特別利益		
固定資産売却益	3	2
ゴルフ会員権売却益	3	—
助成金収入	46	—
特別利益合計	53	2
特別損失		
固定資産除売却損	15	20
減損損失	11	—
投資有価証券売却損	0	—
ゴルフ会員権売却損	4	—
特別退職金	112	—
関係会社整理損	275	18
工場移転費用	14	—
新型コロナウイルス感染症による損失	191	—
特別損失合計	625	39
税金等調整前四半期純利益	479	2,348
法人税等	241	651
四半期純利益	238	1,696
親会社株主に帰属する四半期純利益	238	1,696

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	238	1,696
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△432	78
為替換算調整勘定	△711	1,123
退職給付に係る調整額	△2	2
その他の包括利益合計	△1,146	1,204
四半期包括利益	△907	2,901
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△907	2,901
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当社及び国内連結子会社は、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を用いた計算をしております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症拡大により、当社グループでは主要な取引先の減産の影響を受けております。現時点では新型コロナウイルス感染症拡大の収束が見通せず、この状況がいつまで続くのか予想することは困難であるものの、各地域において経済活動は徐々に再開していることから、今後も一定期間にわたり一時的な需要低下がありつつも、需要は徐々に回復していくと仮定し、当該仮定を会計上の見積り（繰延税金資産の回収可能性、固定資産減損の兆候判定）に反映しております。

なお、将来における実績値に基づく結果が、これらの見積り及び仮定とは異なる可能性があります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	東南アジア	中国	計				
売上高								
(1)外部顧客への売上高	6,155	9,640	7,888	23,684	3,261	26,945	-	26,945
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	1,967	132	553	2,653	40	2,694	△2,694	-
計	8,123	9,773	8,441	26,338	3,302	29,640	△2,694	26,945
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	△495	481	448	434	42	476	515	992

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、北米等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「中国」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において11百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	東南アジア	中国	計				
売上高								
(1)外部顧客への売上高	6,722	11,395	8,981	27,099	3,438	30,537	-	30,537
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	2,776	245	782	3,803	72	3,876	△3,876	-
計	9,499	11,640	9,763	30,903	3,510	34,413	△3,876	30,537
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	△161	900	862	1,602	94	1,696	447	2,143

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、北米等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第3四半期連結会計期間において区分表示しておりました「北米」セグメントは、報告セグメントにおける重要性が低下したため、当第3四半期連結会計期間では、「その他」セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。